

はじめに...

ネギ秋冬どり作型における 品種の特性

秋田県のネギ秋冬どり作型では
出荷規格として2L、Lサイズが主流

＜秋田県標準出荷規格＞

2L：軟白部の太さ2.0～2.5cm、1箱5kg、30本

L：軟白部の太さ1.5～2.0cm、1箱5kg、3本×15束
※軟白の長さは、どちらも30cm

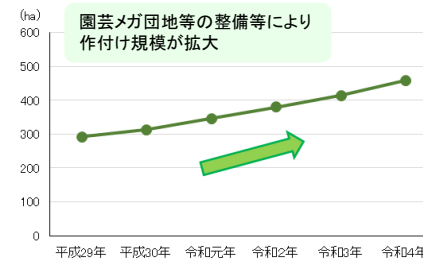
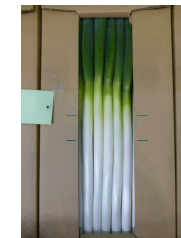


図 秋田県のネギの作付け面積

1品種だけでは生育が同じであり、
収穫時期が重なる可能性あり

病気の被害拡大・品質の低下

複数の品種を使い、リスク回避



秋田県農業試験場

目的

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
夏どり		播種		定植				収穫				
秋冬どり				播種	定植						収穫	

図 秋田県における主なネギの作型

主要品種である「夏扇パワー」を基準として
品種の特性を比較し、作付けの参考とする。

【調査】

- 草丈、太さ、全重、調製重 など
- 病害(さび病・葉枯病(斑点病斑、黄色斑紋病斑))の発生程度



※発病度

発病度 = $\sum(\text{発病指数} \times \text{株数}) \times 100 / (\text{調査株数} \times 4)$

耕種概要

表 1 作付けした品種

品種名	育成
(対照)夏扇パワー	(株)サカタのタネ
夏扇4号	(株)サカタのタネ
関羽一本太	(株)トーホク
項羽一本太	(株)トーホク
名月一文字	タキイ種苗(株)
大河の轟き	トキタ種苗(株)
碧い海原	トキタ種苗(株)
深緑のいざない	トキタ種苗(株)
源翠	カネコ種苗(株)
夏山一本太	中原採種場(株)

播種: 2022年4月25日

チェーンポット(CP303)

2粒/穴

げんきくんネギ培土

定植: 2022年6月22日

施肥(kg/10a):

N:P₂O₅:K₂O=25:9:9(基肥)

パワフルねぎ599(畝溝)

防除:【殺菌剤】

アフエットフロアブル(9月12日)

収穫: 2022年11月9日

品種特性(1)

表2 秋冬どりにおける品種特性 (11月9日)

品種名	草丈 (cm)	葉鞘長 ¹⁾ (cm)	葉鞘 中央部径 ²⁾ (mm)	全重 ³⁾ (g/本)	60cm 調製重 ⁴⁾ (g/本)
(対照)夏扇パワー	90.2	36.9	22.4	284	192
夏扇4号	86.8	35.3	21.8	253	168
関羽一本太	89.2	35.6	22.3	260	180
項羽一本太	90.8	34.9	23.8	277	195
名月一文字	81.3	33.4	22.5	235	159
大河の轟き	88.7	37.0	21.9	261	170
碧い海原	90.5	39.1	20.2	233	158
深緑のいざない	90.9	37.9	22.5	241	172
源翠	93.8	37.7	22.2	261	174
夏山一本太	87.8	36.2	22.4	261	171

1) 一般的に白根と言われる部分の長さ 2) 白根部分の太さ

3) 収穫して根を切った時の重さ 4) 根を切って、葉の枚数を3枚にし、草丈が60cmになるよう調製した時の重さ

4

品種特性(2)～さび病～

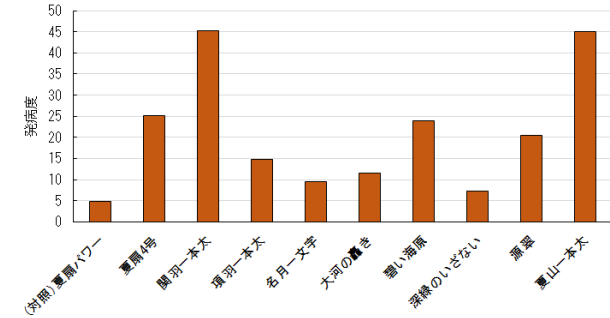


図 さび病の発生状況 (調査日:11月17日)

いずれの品種も「夏扇パワー」よりさび病の発病度が高い。
特に「関羽一本太」と「夏山一本太」の発病度が高い。

「関羽一本太」「夏山一本太」はさび病に弱く、
「名月一文字」「深緑のいざない」は強い。

5

品種特性(2)～黄色斑紋病斑～

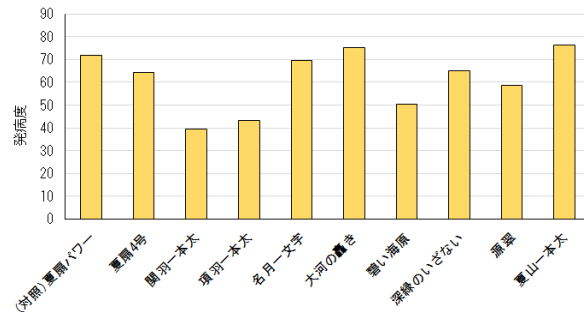


図 黄色斑紋病斑の発生状況 (調査日:11月4日)

「関羽一本太」「項羽一本太」「碧い海原」が発病度が低い。

「関羽一本太」「項羽一本太」「碧い海原」が黄色斑紋病斑に強く、
「大河の轟き」「夏山一本太」が弱い。

6

まとめ

秋冬どりに(11月収穫)では、

- ・「項羽一本太」「関羽一本太」「夏扇パワー」は収量性が高い。
「夏扇パワー」はさび病に強く、黄色斑紋病斑に弱い。
「関羽一本太」はさび病に弱く、黄色斑紋病斑に強い。
- ・「名月一文字」は草丈が短く、調製重が軽い。
また、「大河の轟き」は葉鞘が細長くなるため、収量性は低い。
どちらの品種もさび病に強く、黄色斑紋病斑に弱い。

収量性が良い品種でも、使い分けることで、
リスクの分散を図ることができる。

7